

第1章 うるま市の概要



うるま市の市章

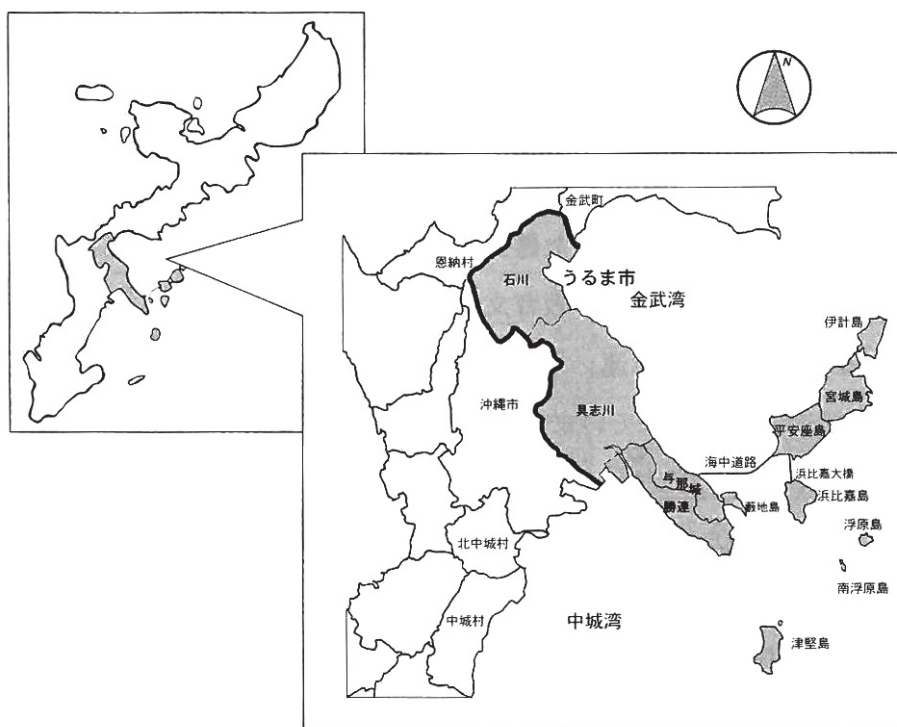
うるま市の「う」の文字を図案化したもので、赤は太陽、緑は大地、青は海をイメージしている。豊かな自然の輪の中で市民の融和と平和を表現し、金武湾と中城湾に面して発展する「うるま市」の明るい未来と更なる飛躍を象徴する。

うるま市の概要

(1) 位 置

うるま市は、沖縄本島中部の東海岸に位置し、県都那覇市から北東へ約25kmの距離にあります。重要港湾である金武湾と中城湾に面し、東南部に広がる勝連半島の北方海上および東方海上には、有人、無人の8つの島々があり、美しい風景と豊かな自然環境に恵まれています。又、県内では人口で3番目、面積で6番目の規模となっています。

◎ 図：うるま市の位置



うるま市の位置			市庁舎の位置	
方位	地名	経緯度	地名	経緯度
極東	伊計	東経 128° 00' 15"	うるま市みどり町 一丁目1番1号 (本庁舎)	東経 127° 51' 27" 北緯 26° 22' 45"
極西	嘉手苅	東経 127° 47' 17"		
極南	津堅	北緯 26° 14' 29"		
極北	石川	北緯 26° 27' 01"		

◎ うるま市のデータ

人口：125,394人（令和3年3月末日現在）

世帯数：54,747世帯（ “ “ ）

面積：87.02km²

市長名：中村 正人

所在地：うるま市みどり町一丁目1番1号

電話：098-974-3111（代表番号） ホームページ：<http://www.city.uruma.lg.jp>

(2) 沿 革

うるま市は、具志川市、石川市、勝連町、与那城町の個性豊かな4市町が合併して生まれたまちです。

具志川市は、約4,000年前に生活が営まれた痕跡を残す古い歴史があり、琉球最古の歌謡集「おもろさうし」に“くしかわ”とあります。豊富な水資源と肥沃で広い土地に恵まれ、かつてサトウキビの生産が沖縄一を誇っていました。戦後、琉球大学の前身である沖縄文教学校、沖縄外国語学校や農林学校などが続々創設され、沖縄の文教の中心地として発展してきました。

石川市は、琉球王朝時代の寛文6年（1666年）以前は、現在の沖縄市を中心とする越來間切に含まれる農村集落でした。その後、越來間切から分割された美里間切に含まれ、明治41年の沖縄県島嶼町村制の施行に伴い誕生した美里村の一行政区として、昭和初期までその状態が続きました。そして、終戦直後、地方行政措置要綱に基づき美里村から分離し、石川市が誕生しました。戦中戦後には、米国により設置された難民収容所や琉球政府の前身である沖縄諮詢委員会や民政府が設置され、沖縄の政治・経済・教育文化の中心地として発展してきました。

勝連町は、古い文献に「賀津連」「賈慈連」という字で表現されており、1609年の喜安日記に初めて「勝連」の二字が記されています。12～13世紀の築城とされる勝連城は、阿麻和利の乱で落城する1458年まで栄えました。「おもろさうし」には、大和の京や鎌倉に例えられるほどの繁栄が謡われており、活発な海外との交易により発展してきました。また、勝連城跡は、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして、平成12年に世界遺産に登録されました。

与那城町は、約2,500年前の沖縄貝塚時代中期の沖縄最大の段丘集落跡といわれる「シヌグ堂遺跡」があり、尚真王の甥にあたる与那城王子朝原が授かった西原間切の集落でした。その後、平田間切、与那城間切と改名を重ね、沖縄県島嶼町村制の施行など歴史的な変動を経験しながら、発展してきました。また、海中道路（1972年）や伊計大橋（1982年）、藪地大橋（1985年）の完成により、島々の交通の便が飛躍的に向上し、離島苦の解消が図られました。

4市町は歴史的なつながりが強く、地縁、血縁など住民同士の交流は古くから続いていました。また、海に面し恵まれた地理的条件も含め、生活・経済・文化面において一体的な日常生活圏を構築していました。そして、平成16年9月の4市町の議会において、廃置分合をはじめとする合併関連議案が可決され、同年10月、沖縄県知事への合併申請後、平成17年4月1日に「うるま市」が誕生しました。

(3) うるま市の人口

(イ) 行政区別住民登録人口

令和3年3月末現在

行政区名	行政区コード	世帯数	男	女	計
具志川	1	1,973	2,346	2,454	4,800
田場	2	2,144	2,597	2,705	5,302
赤野	3	864	1,074	1,020	2,094
宇堅	4	501	655	615	1,270
天願	5	607	649	662	1,311
昆布	6	850	899	888	1,787
栄野比	7	938	1,048	987	2,035
川崎	8	944	1,153	1,145	2,298
西原	9	1,202	1,544	1,506	3,050
安慶名	10	1,425	1,527	1,625	3,152
平良川	11	1,002	1,193	1,195	2,388
上平良	12	1,177	1,401	1,450	2,851
兼箇段	13	727	858	846	1,704
米原	14	1,073	1,324	1,339	2,663
赤道	15	2,456	2,553	2,658	5,211
江洲	16	1,793	2,156	2,217	4,373
宮里	17	1,748	1,834	1,892	3,726
喜仲	18	1,316	1,549	1,576	3,125
上江洲	19	1,218	1,378	1,364	2,742
大田	20	805	941	933	1,874
川田	21	447	527	532	1,059
塩屋	22	861	1,108	1,019	2,127
豊原	23	631	812	788	1,600
高江洲	24	534	677	725	1,402
前原	25	799	915	868	1,783
志林川	26	1,025	1,159	1,251	2,410
新赤道	27	767	860	931	1,791
みどり町1・2	28	903	1,112	1,187	2,299
みどり町3・4	29	1,024	1,191	1,220	2,411
みどり町5・6	30	923	1,065	1,060	2,125
具志川地域計	-	32,677	38,105	38,658	76,763
曙	31	1,397	1,488	1,530	3,018
南城	32	471	468	441	909
城北	33	867	1,020	949	1,969
中央	34	467	500	540	1,040
松島	35	540	527	491	1,018
宮前	36	545	489	500	989
東山	37	876	809	732	1,541
旭	38	1,072	1,180	1,294	2,474
港	39	619	600	564	1,164
伊波	40	942	1,113	1,127	2,240
嘉手	41	384	388	418	806
山城	42	449	556	494	1,050
石川前	43	1,378	1,640	1,720	3,360
東恩納	44	749	821	791	1,612
美原	45	395	408	418	826
石川地域計	-	11,151	12,007	12,009	24,016
南風原	46	1,590	1,853	1,835	3,688
平安名	47	1,721	2,169	2,001	4,170
内間	48	482	570	537	1,107
平敷屋	49	1,488	1,849	1,493	3,342
津堅	50	237	229	149	378
浜	51	130	137	101	238
比嘉	52	113	106	68	174
勝連地域計	-	5,761	6,913	6,184	13,097
照間	53	540	654	610	1,264
与那城西	54	616	728	788	1,516
与那城	55	592	753	708	1,461
饒辺	56	638	771	740	1,511
屋慶名	57	1,649	1,934	1,747	3,681
平安座	58	583	631	549	1,180
桃原	59	110	110	85	195
上原	60	132	130	83	213
宮城	61	99	89	67	156
池味	62	47	50	34	84
伊計	63	152	146	111	257
与那城地域計	-	5,158	5,996	5,522	11,518
合計	-	54,747	63,021	62,373	125,394

資料：住民基本台帳行政区別人口及び世帯数

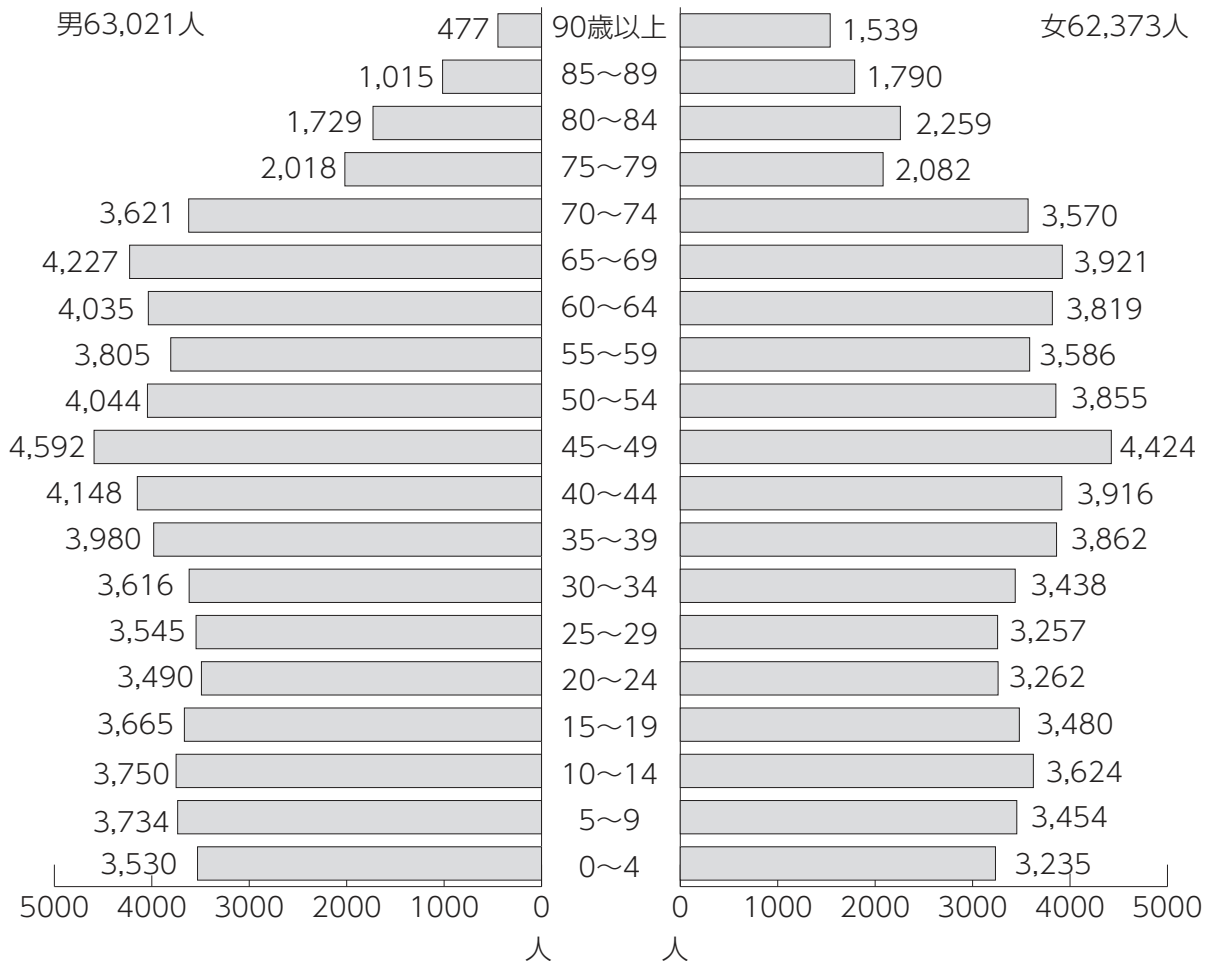
(ロ) 年度別人口動態 (4月1日～3月31日)

(単位：人)

年次	人口増加数			自然動態		社会動態		婚姻	離婚
	総数	自然	社会	出生	死亡	転入	転出		
平成28年度	615	250	365	1,349	1,099	5,103	4,738	666	349
平成29年度	606	261	345	1,339	1,078	5,390	5,045	676	314
平成30年度	706	270	436	1,337	1,067	5,638	5,202	653	341
令和元年度	589	217	372	1,299	1,082	5,749	5,377	741	368
令和2年度	791	134	657	1,302	1,168	5,517	4,860	661	320

(ハ) 人口構成

人口ピラミッド (令和3年3月末現在)



(二) 年度別人口の推移

(単位：人)

区分	合併後 (うるま市)										
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
男	59,476	59,760	60,210	60,367	60,888	61,148	61,511	61,824	62,322	62,707	63,021
女	59,518	59,798	60,130	60,319	60,697	60,939	61,191	61,484	61,692	61,896	62,373
計	118,994	119,558	120,340	120,686	121,585	122,087	122,702	123,308	124,014	124,603	125,394

(4) 令和3年度うるま市一般会計歳入歳出予算 (当初)

歳入

(単位：千円)

款	金額	割合
市税	11,549,151	18.4%
地方譲与税	256,432	0.4%
利子割交付金	4,296	0.01%
配当割交付金	14,765	0.02%
株式等譲渡所得割交付金	13,269	0.01%
法人事業税交付金	72,639	0.1%
地方消費税交付金	1,996,888	3.2%
ゴルフ場利用税交付金	20,690	0.03%
環境性能割交付金	18,890	0.02%
国有提供施設等所在市町村助成交付金	583,497	0.9%
地方特例交付金	88,779	0.2%
地方交付税	12,453,908	19.8%
交通安全対策特別交付金	11,034	0.01%
分担金及び負担金	314,424	0.5%
使用料及び手数料	749,240	1.2%
国庫支出金	16,010,711	25.4%
県支出金	8,195,419	13.0%
財産収入	478,201	0.8%
寄附金	203,856	0.3%
繰入金	4,106,903	6.5%
繰越金	1	0.0%
諸収入	691,835	1.1%
市債	5,113,990	8.1%
歳入合計	62,948,818	100.00%

歳出

(単位：千円)

款	金額	割合
議会費	369,481	0.6%
総務費	4,135,558	6.6%
民生費	31,299,635	49.7%
衛生費	3,475,547	5.5%
労働費	160,485	0.2%
農林水産業費	1,261,529	2.0%
商工費	1,018,249	1.6%
土木費	5,639,767	9.0%
消防費	1,292,223	2.1%
教育費	8,947,686	14.2%
災害復旧費	9	0.0%
公債費	5,198,649	8.3%
予備費	150,000	0.2%
歳出合計	62,948,818	100.0%

